

1 調査目的

障がい者の日常生活の状況やニーズなどの現状を把握・分析するとともに、当事者や関係者の意向、課題認識等を抽出することにより、今後の障がい者施策の検討・立案に向けた基礎資料とすることを目的に実施する（実態調査は3年に一度実施）。

2 調査時期・方法

- (1) 時期 令和7年11月～12月
(2) 方法 当事者及び市民：調査票の郵送 ⇒ 返信用封筒にて回答
事業者：メール送付 ⇒ WEBにて回答

3 調査対象

- (1) 当事者調査 **3,000** 人
手帳所持者、難病受給者からランダム抽出（障がい種別に偏りが出ないよう調整）
(2) 市民調査 **1,000** 人
18歳以上の豊田市在住者からランダム抽出
(3) 事業者調査 **156** 法人
市内事業所を運営する全ての法人

4 回収結果

分類	R7 送付数	R7 回収数	R7 回収率	R4 回収率
当事者	3,000 人	1,809 人	60.3%	53.6%
市民	1,000 人	546 人	54.6%	49.1%
事業者	156 法人	80 法人	51.3%	77.4%

5 今後の進め方について

- ・年齢、手帳の種類、障がい種別などでクロス集計を行い、課題や傾向をつかむ
- ・前回調査（令和4年度実施）と比較し、各種数値の変化や市の特色等を把握する
- ・アンケート結果及び各団体等のヒアリング結果などを基に、施策の位置づけ（基本施策・重点施策）や個別事業を設定する。

〈参考〉 設問ごとの回答結果（抜粋）

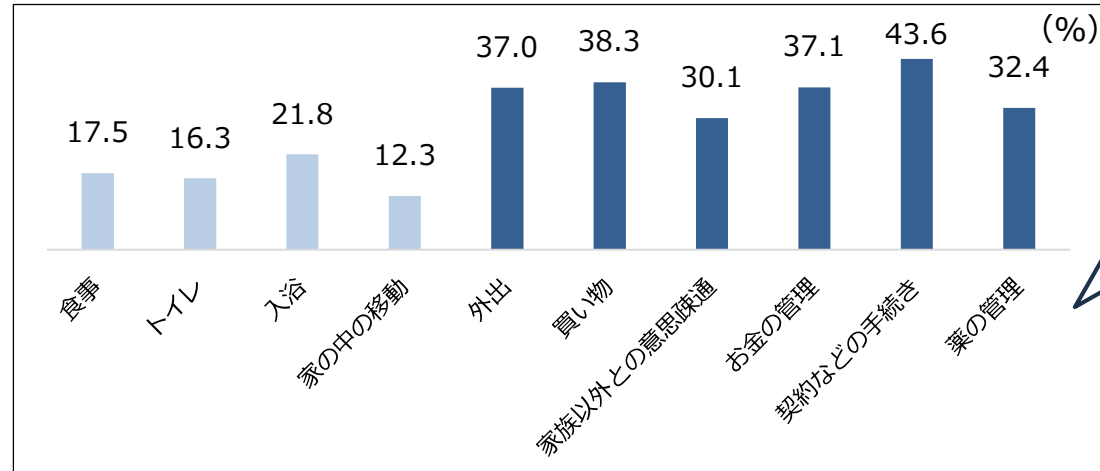
【当事者】

問 68 障がい者にとって豊田市は暮らしやすいまちだと思いますか



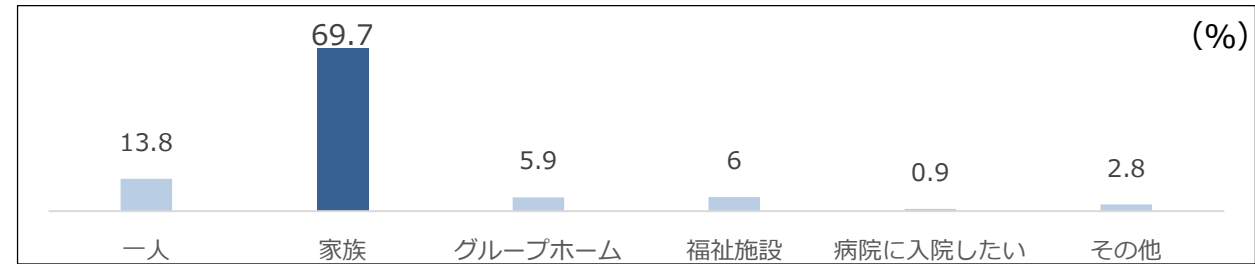
本計画の
総合指標
(とても思う+どちらかといえば思う)
R4 : **63.4%**
R7 : **62.2%**

問 17 日常生活で次のことをどのようにしていますか（一部介助が必要+全部介助が必要の割合）

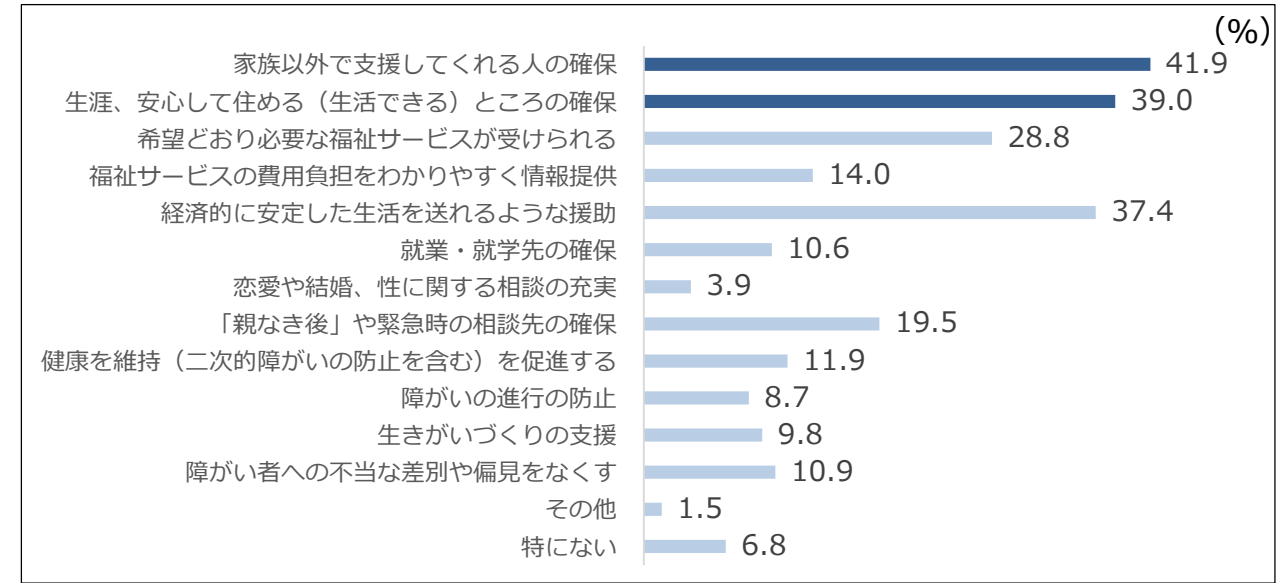


おもに介助や介護している方の年齢
平均 : 57.3 歳

問 12 今後の住まいについて、どのような暮らしをしたいですか

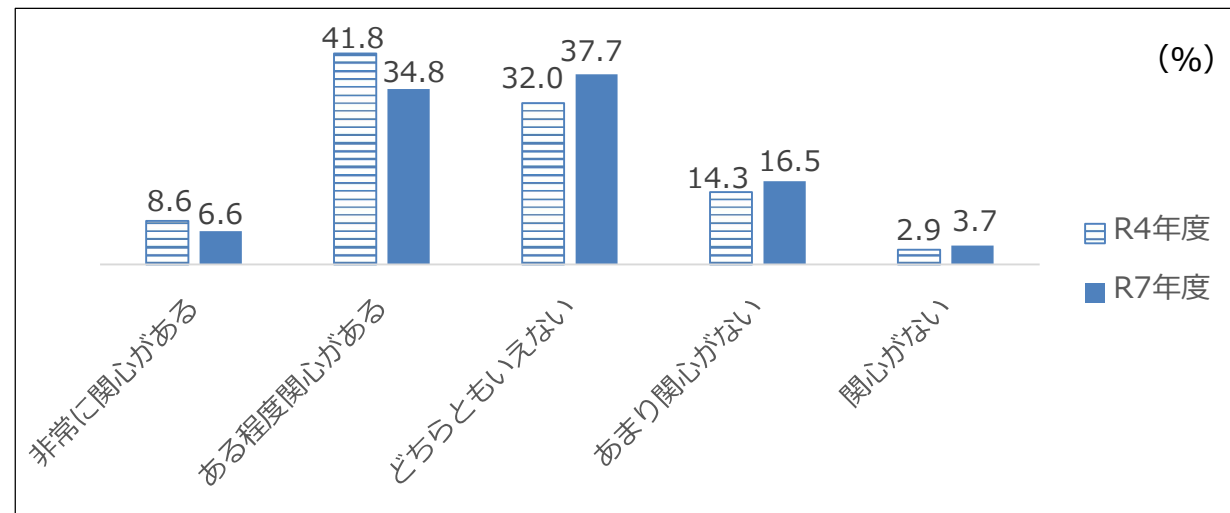


問 71 障がい者の不安を解消していくために、どのような取組が必要だと思いますか

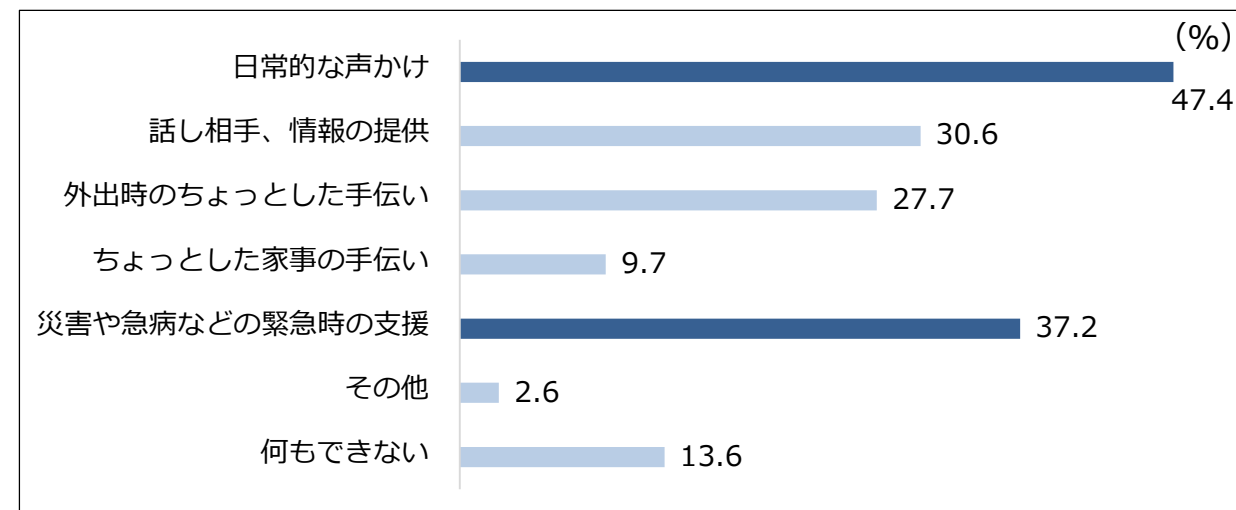


【市民】

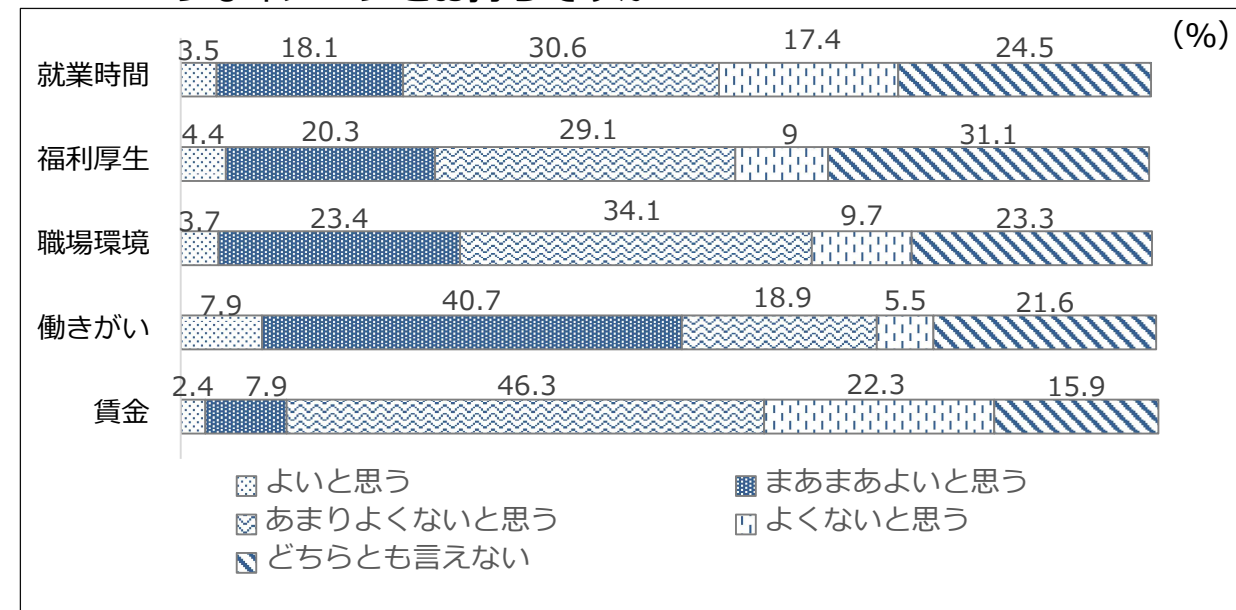
問 19 障がいのある方のことや障がい者福祉について関心がありますか



問 10 お住まいの地域で障がいのある方が困っていたら、その人にどのようなことができると思いますか

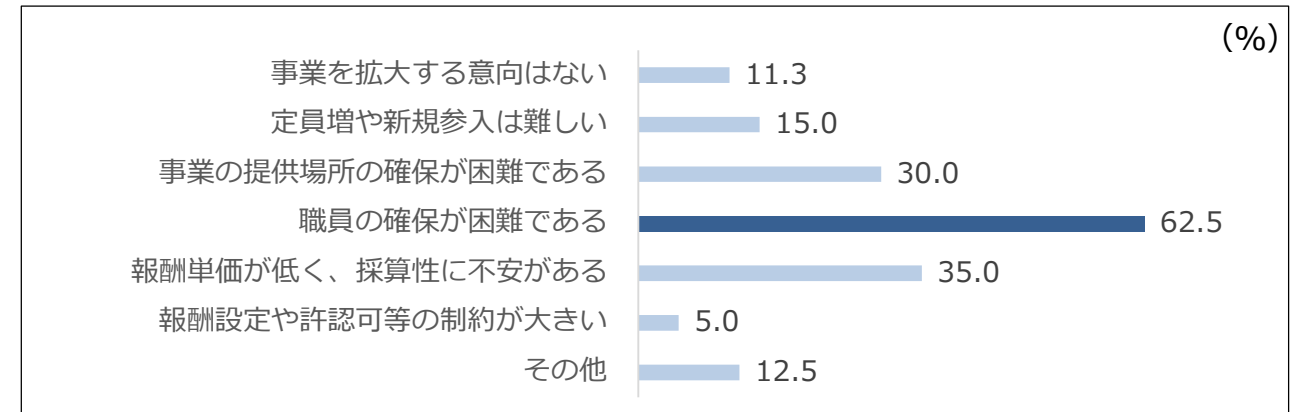


問 16 福祉施設で働く職員の就業状況に関する次のことについてどのようなイメージをお持ちですか

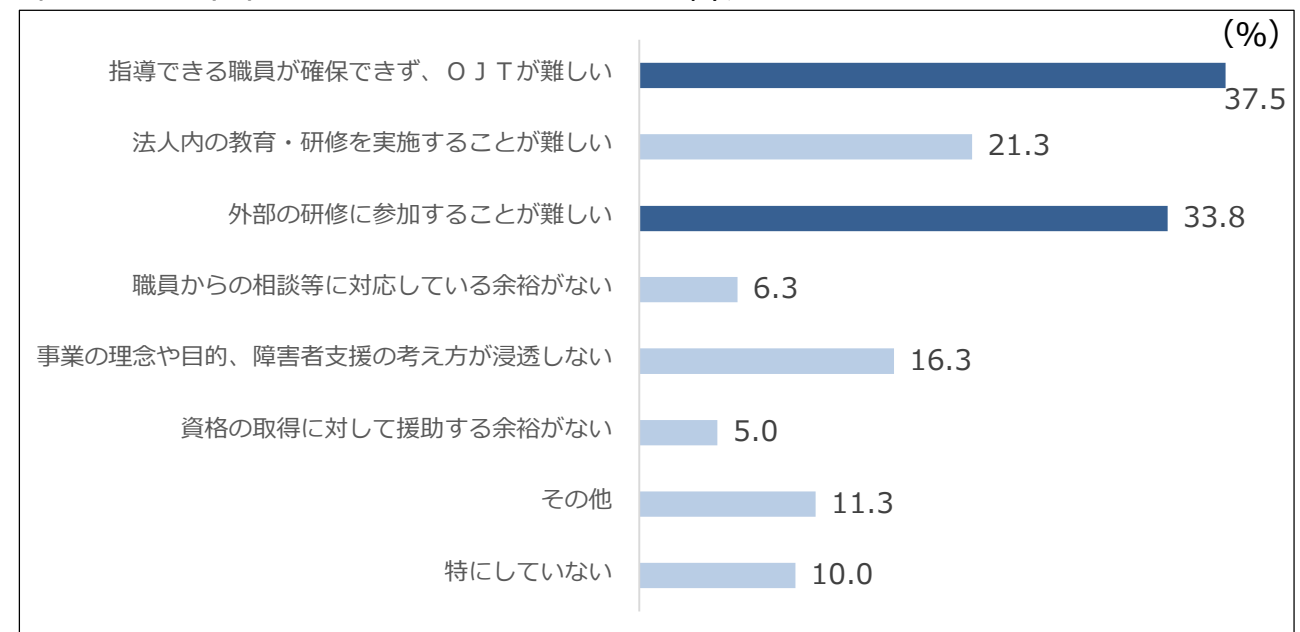


【事業者】

問 5 貴法において事業所の定員増や新規参入が進まない理由は何ですか



問 11 人材育成においてはどのような課題がありますか



問 19 利用者の情報管理や相談業務、サービス提供などにおいて、生成A Iなどの先進的なデジタル技術を活用していますか

